とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	令和7年4月24日（木）
クラス名（年齢）	ことり組（1歳児）
年間テーマ	自然

1、活動テーマ

＜テーマ＞

園庭の自然を見つけたよ

＜テーマの設定理由（子どもの姿）＞

・第二園庭に行く道中でたんぽぽを見つけて覗いたり、てんとう虫、蝶などの虫に興味を持つ姿が見られるようになり、実際に触れて遊ぶ時間を取れるようにした。

2、活動スケジュール

・たんぽぽの綿毛を手に持ち、息を吹きかけて飛ばしたり、蟻やだんご虫を探しながら自然に触れて遊べるようにする。

3、環境をデザインする（活動のために準備した素材や道具、環境設定）

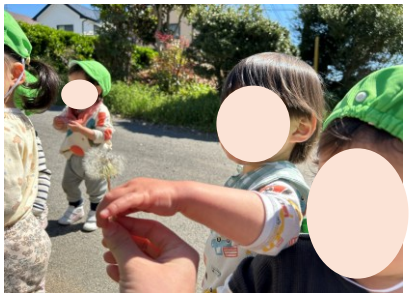
・シャベル、バケツ、ポーターなどの玩具

4、探究活動の実践

＜活動内容＞

・第二園庭に遊びに行く道中、足を止め、たんぽぽを摘んだり、綿毛を飛ばして身近な自然に触れて楽しむ。
・子どもが興味を持った自然を見たり触れたりする機会を作り、一緒に探したり見ながら楽しめるようにする。
・草花や虫を皿やカップ、ポーターなどに入れて保育者や友達と一緒に見ながらおしゃべりを楽しむ。

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

子どもの言葉・姿	写真
・保育者がたんぽぽの綿毛を手に取り、息を吹きかけて綿毛を飛ばす様子を見せて興味を持てるようにする。 ・興味を持ち、さっそく手に取る。 ・保育者の真似をして息を吹きかけたり、手に持って振るなどして綿毛が飛ぶ様子を見て楽しむ。 ・風や手の動きで綿毛が飛ぶことが分かり、何度も楽しむ。 ・用意したシャベルやバケツを持って草むらに行き、虫探しをする。 ・蟻やだんご虫を見つけた時に「あ！」と保育者に知らせたり、シャベルを使って自分なりに虫を捕まえてみようとする。 ・てんとう虫の幼虫がいた時には見たことのない物だったため不思議そうにしながらもじっくりと見て楽しむ。 ・捕まえた虫をポーターに入れて友達と一緒に見ながら「あった」などとおしゃべりを楽しむ。	

5、振り返り（振り返りによって得た保育者の気づき）

・昨年までは虫に対して興味がなかった子ども達が、年上の子ども達の遊んでいる姿を見て自分で興味を持ちシャベルやバケツを持って虫探しをする様子が見られたのでこの活動を取り入れた。保育者が手で捕まえる様子を見て真似して追いかけるも虫のスピードが速くて捕まえられずシャベルを使って囲おうとする姿なども見られて子どもたちなりに考えて遊んでいるのだと感じた。日頃から通っている道中で「たんぽぽがあるね」などと伝えていたので、身近なものということもあり興味を示すのが早かった。身近なものから取り入れていく楽しさを感じてもらえるようにしたいと思った。